



学校だより

たかくだより

スローガン

『たくましく生きる高久の子』

那須町立高久小学校

令和3年6月18日発行

文責：伊藤 いつみ

NO. 4



高久小ホームページQRコード

高久小の学校教育目標

たか
く
の人を思いやる子
んがえて勉強する子
じけずにがんばる子

那須町の教育スローガン

『夢、感動あふれる人づくり』

県民の日集会 6/15



プール脇にあるトチノハを示しました

今年度、県民の日である6月15日に、体育館に初めて全校生が集まり、県民の日の集会を行いました。

栃木県の成り立ちや栃木県のシンボル（県木トチノキ・県花ヤシオツツジ・県鳥オオルリ・県獣カモシカ）について画像や実物で話しをしました。

また、県庁についても写真で紹介をしました。

県民の日に向けて、子どもたちは朝の歌などで、「県民の歌」を歌っていました。郷土を愛する気持ちが高まるとよいと思います。



県民の日
マスコット
ルリちゃん

「自律・自立」に向け、学ぶ子どもたちの姿 【朝や授業でのスピーチ】



1年生 国語「くちばし」での発表

先日、1年生が「わけをはなそう」という単元で、入学して2か月経った自分の気持ちを校長先生に伝えようという学習をしました。楽しい気持ち、嬉しい気持ち、悲しい気持ちなど今の自分の気持ちとその訳を話し、動画に撮ったものを見せてもらいました。しっかりと伝えようとする子どもたちの様子に、思わず笑みがこぼれました。話し方の決まりを低学年から学習していきますが、この時学習したことが、その後の「くちばし：一番驚いたくちばしとそのわけを話そう」の授業に生かされていました。

また、6年生は、朝のスピーチをタブレットを使って発表しています。その月のテーマに合った内容を、写真などを取り入れて分かりやすくまとめ、プレゼンのような形で発表していました。私は、5月に朝の会のスピーチの様子を目にしたときには、大変驚きました。ここまで、普段からタブレットを使いこなしているのかと思い、積み重ねを感じました。

同様に、ふれあい集会の準備の説明を下学年にするときにも、タブレットで準備物や方法を説明していました。視覚的にわかりやすく、その後の準備はスムーズに取り組めていました。



ふれあい集会の準備の説明をする6年生

《那須町小学校ソフトボール大会 6/12》

高久小学校ソフト部は、第1試合で東陽小学校と、第2試合で学びの森小学校と対戦しました。第2試合の学びの森小との対戦では、1回の表に強襲でピッチャーの足に打撃を受けるというアク



少人数ですが、保護者の協力は絶大です！

シデントに見舞われ、先制されてしまいました。しかし8点差を追い上げ、点の取り合いになりました。5回に追いついて、逆転のチャンスも迎えました。結果は12



バントスクイズ、3塁からホームへ！

対12の引き分けで、順位は4位でしたが、最後まで粘り強く戦った子どもたちの姿に感動しました。

3年生から6年生まで11名のソフト部、全員が試合に出場し、実践の力をつけた大会でした。

高久の風

高久小の校歌について、本校に残っている過去の資料を見返していたら、古い開校歌の歌詞が見つかりました。聞きづてで書き残したものと思われ、カタカナ表記で残っていました。

第8代「渡辺直吉」校長は、明治25年から大正11年まで、校長として最長の29年7か月在職されました。教員としても、明治20年12月から明治23年9月までの2年10か月を本校で教鞭を執っていらっしゃったことが記録として残っています。校長在任期間中は、日清・日露戦争や第一次世界大戦が勃発して、不穏な世の中だったようです。田中正造氏が足尾鉬毒問題において明治天皇に直訴したのも、この期間でした。

教育に関しては、明治19年に施行された小学校令が改正され、尋常小学校義務教育年限が6年に延長されたのは、明治40年でした。

校舎は、焼失や校地移転のため、何度か新校舎が落成されていますが、大正元年1月30日の新校舎落成の際は、2月3日より授業が開始されました。11月17日に開校式が挙行されたとあり、その時に歌われたと思われる歌の記録が見つかりました。

現在の校歌は前回お知らせしたように、創立から約50年後の1924年（大正13年）10月31日に制定されました。今回発見したものは、開校を記念してのそれ以前の歌ということになります。

高久小学校開校式ノ歌（作曲歌）

校長 渡辺 直吉

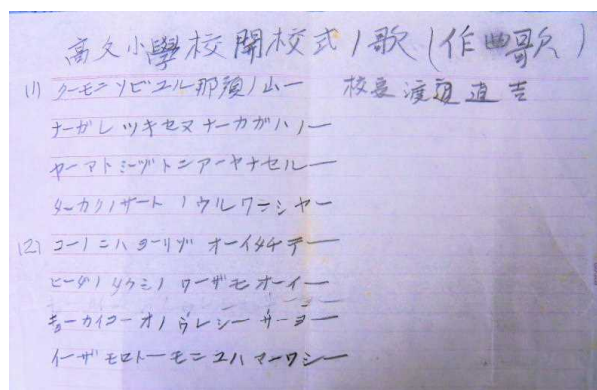
(1) クーモニソビユル 那須ノ山ー
ナーガレツキセヌ ナーカガハノー
ヤーマトミーツトニ アーヤナセルー
ターカクノサートノ ウルワーシヤー

雲に聳ゆる 那須ノ山
流れ尽きせぬ 那珂川の
山と水とに 綾なせる
高久の里の 麗しや

(2) コーノニハヨーリゾ オーイタチテー
ヒーダノタクミノ ワーザモオーイー
キョーカイコーオノ ウレシーサーヨー
イーザモロトーモニ ユハマーワシー

この庭よりぞ 生い立ちて
飛騨の匠の 技も多い
今日開校の 嬉しさよ
いざ諸共に ゆはまわし

この
ような
感じに
なるの
でしょ
うか。



学校に残されていた開校式の歌の歌詞です。コクヨの用紙に書かれていたので、当時のものではないと思われます。

意味が不明な歌詞もあり、この歌について何かご存知の方がいらっしゃいましたら、学校までお知らせください。

高久小 tel 62-0425

